

Title	農政改革犠牲者の遺跡
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1924
Jtitle	史学 Vol.3, No.2 (1924. 8)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	口繪
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19240800--005">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19240800--005</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 口 繪 說 明

此寫眞は宇和島二代の藩主伊達宗利の治世、圍持制度實施に際し執行したる内拵檢地に反對したる今の北宇和郡來村大字川内の庄屋三好四郎右衛門外六名を當時藩の檢地頭取たりし八十島治右衛門が怒つて斬罪に處したるを、後年其村の人々庄屋等の心事を追慕して石碑及び石地藏を建て供養を續けて今日に及べるを示せるものなり、右方の屋舎は外方より見たる地藏堂にして左方は其内景なり、村の義民が武斷政治に罪を問はれて生命を失ひ、其供養塔が櫛風沐雨二百有餘年を経たる今日迄、谷間の曠原に淋しく残れる状を見よ、寫眞は黒田春美氏の撮影せられたるものに係る。

# 農政改革犠牲者の遺跡

世直り地蔵尊

其の内の景

其の外観

